



丸子中央病院で働かせて頂き30年を過ぎました。長いですね。人生の半分、家にいるより長い時間この丸子中央病院に居ます(^^)/

嫌な長さではありませんでした。もちろん楽しい事ばかりでもありません。

進んでいるような気がします。でもなかなか花は咲かず根を張る方が多いかもしれません。時には立ち止まったり、目をつぶったり、いつそのこと見えない方が良いこともありますよね。物事を前向きに考えられるようになったのもこの本のおかげ、そして母に感謝です。

ある日をきっかけに：

そもそもこの本を読むきっかけは私の不満顔？からでした。

私は仕事で嫌なことがあっても家族に相談や愚痴をこぼすことは殆ど無かったと思うんですが、ある時よほど疲れた顔？不満顔？をしていたのでしょうか！ 人生の先輩で、看護師の先輩でもある実母が「この本読んで。」と渡してくれた本があります。著者：渡辺和子さんの『置かれた場所で咲きなさい』でした。

今自分の表情はどうでしょう？皆さんは自分の表情を見たことがありますか？いつも不満や愚痴ばかりで過ごしているとダメ人間になってしまう。しあわせな気持ち、感謝の気持ちで過ごせば自然と表情は穏やかになり言葉もまあるくなります。

その中には「どんなところに置かれても花を咲かせる心を持ち続けよう」どうしても咲けない時、そんな時は咲かなくてもいい。その代わりに、根を下へ下へと降ろして、根を張るのです。次に咲く花が、より大きく、美しいものとなるために。今までを振り返ると、新しい何かを始める時、始めなければならぬ時には何度かこの言葉を思い出し前

私がこれまで多くの方から頂いた全てに感謝し、残念なことに自分の顔は変えられないので表情を変え笑顔で周りの人、自分自身に沢山のしあわせと花が咲くように関わっていこうと思います。看護師として看護管理者として忘れてはいない事です。

Contents

特集 命

人にも犬にも猫にも
優しい街づくりを目指して

1~4

連載第6回

丸子電鉄から読み解くー丸子の歴史
上田・丸子と、中南信を鉄道で結ぶ夢③

5

トピックス

Marukko TOPICS

6



人にも犬にも猫にも 優しい街づくりを 目指して



行き場を失ったおよそ90匹の猫たちが暮らすシェルターが上田市・上丸子にあります。

私たちがよく見かけるいわゆる「ノラ猫」と呼ばれる猫たちには、必ず餌をあげる人が存在しているといいます。

「今は、人間の手がなければ生息することは難しく、狩りをして生き延びているのはヤマネ」ぐらいですよ。」

とNPO法人「一匹でも犬・ねこを救う会」の松井ルミさんは話します。



このシェルターへ集まってきた猫たちは、さまざまな事情を抱えここに辿り着いています。

「この子は飼い主の飼育放棄かな...」松井さんは、二匹

一匹の名前を呼びながら、その猫との出会いを話してくれま

した。ある子は、飼い主さんの精神疾患により飼育放棄され

ました。「甘えてくる猫に対し

て暴力をふるってしまいそう」という本人からの相談でした。

またある子は、ブリーダー廃業や劣悪な環境下で飼育されて

いた所を保護されました。「私がこの会に携わるきっかけとなったのは、東北の震災で

した。」当時、SNSなどで避難所へペットを連れていくことが

できず、自宅に置いてくるしかなかつたという投稿を多く

目にしました。仕事もあつたため現地へ行くことはできませ

んでしたが、後方支援で、資金や、フード、ケージを送る

活動を行っていました。そのような活動をしている中で「二匹

でも犬・ねこを救う会」の存在を知り徐々に会の活動に携わ

るようになっていきました。

会の活動に携わるようになってから、殺処分についての現実を目の当たりにしました。

以降、行政との関係構築や信

頼獲得に努めできる限り殺処分を減らすことができるように

に処分対象となってしまうような子がいたら必ず連絡を貰

えるように働きかけました。その年、保健所から約80匹の猫を保護しました。里親も次々と見つかりましたが、保護し

て譲渡、また保護したら譲渡の繰り返しに限界を感じたこ

ともありました。

そこで見つけたのが行政と連携しながら猫によるトラブルを防ぐ「地域猫活動」です。

餌場に来る飼い主のいない猫全頭に対して不妊・去勢手術を行い、耳先に手術済みのカットを入れ、元の場所に返し（TNR Trap Neuter Return）地域のルールに基づいて、適切に飼育管理を行い一代限りの生を全うさせることを目指します。（上田市 地域猫活動ガイドブックより引用）



TNR「地域猫活動」って？

飼い主のいない猫による様々なトラブルを解決するための仕組みづくりのことです。

飼い主のいない猫の飼育管理について地域でルールを定め、

餌場に来る飼い主のいない猫全頭に対して不妊・去勢手術を行い、

耳先に手術済みのカットを入れ、

元の場所に返し（TNR Trap Neuter Return）地域のルールに基づいて、

適切に飼育管理を行い一代限りの生を全うさせることを目指します。（上田市 地域猫活動ガイドブックより引用）





現

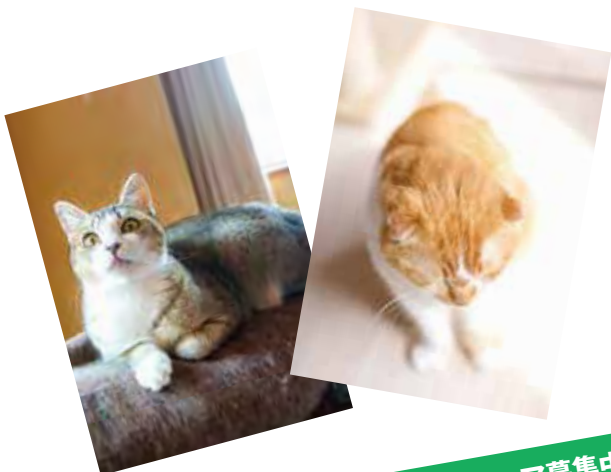
在は、この「地域猫活動」に上田市や獣医師会の協力を得て飼い主のいない猫について不妊・去勢手術の予算を組んでもらえるようになりました。上田市では、自治会ごとに「地域猫活動」に関わる不妊・去勢手術を全額助成しています。自治会ごとに「地域猫活動」の申請が出来るようになっており、現時点で241自治会のうち118自治会がこの「地域猫活動」へ賛同し、取り組みが広がっています。2020年には、地域活動の公益性が認められ、上田市功労賞も受賞しました。

譲渡会は定期的に実施しています。現在は事前予約制となっており、ホームページから問い合わせをすることが出来ます。日頃から、ホームページや、SNSなどを中心に里親を待つ猫たちの情報を発信しているため、既に気になる子が

いる人も少なくありません。

訪れた人は「前からニュースや、ホームページを通じてこの活動を知っていました。保護犬、保護猫のことにとても興味がありました。何か自分にもできることがあるのではないかと、思つて今日はここに来たんです。」と譲渡会へ訪れた想いを話してくれました。コロナ禍においては、リモートワークやステイホームの影響もあり引き取り手が増えたといえます。県外移住者も増加傾向のため、問い合わせを受けています。里親として猫たちを迎えるみなさんにお願ひしたいことを尋ねると「完全に宅内飼育でこの子たちの寿命が尽きるまで何が起きても手放さないで欲しい。」と松井さんは話します。里親の希望があった場合は、会の譲渡規約に基づき飼育環境が適しているかどうか、心身共に健康かどうか、安定した収入があるかなども条件となり

ます。シェルターへ集まる猫や、犬たちは全て元の飼い主との間に何らかの事情を抱え、暮らせなくなり傷を負いこの場所にやってきます。会の譲渡規約が厳しいという声を耳にすることもありますが、その背景には会の人たちの二度と同じことを繰り返さずに、最期までしあわせに過ごしてもらいたいという想いがあります。ここには人、そして犬、猫にも優しい街づくりを目指し努力している人たちの姿がありました。



ボランティア募集中!



NPO:法人

信州上田

一匹でも犬・ねこを救う会

活動内容: 猫シェルターお世話 (所在地: 上丸子)、一時保護、ミルクボランティア、グルーミング、搬送、譲渡会設営、イベントスタッフ、グッズ製作、募金箱設置・回収、多頭飼育崩壊現場清掃、書類作成、ホームページ管理 など



丸子中央病院 皮膚科を開設

2022年4月より横浜市立大学 准教授 松倉節子医師が赴任し、皮膚科を開設しました。

＜専門分野＞

皮膚アレルギー（アトピー性皮膚炎、接触皮膚炎、薬疹、じんましん、成人食物アレルギー）、自己免疫性水疱症、乾癬、皮膚腫瘍



丸子中央病院は 在宅療養支援病院に

住み慣れた地域で安心して療養生活を送れるよう、求めに応じ24時間往診（医師）と24時間訪問看護（看護師）の提供が可能な体制を確保することにより、緊急時にご家庭に赴き、また直ちに入院できるなど必要に応じた医療・看護を提供できる病院のことを「在宅療養支援病院」と言います。丸子中央病院では2022年5月に在宅療養支援病院の届出を行いました。



オンライン市民公開講座 開催!

2022年7月30日(土) 14:00よりZoomを使用した市民公開講座を開催します。

第一部

アトピー性皮膚炎を正しく知ろう! ～基本の治療と新しい治療薬～
なかなか改善しないアトピー性皮膚炎に新しい治療薬が出てきました。効果、副作用なども解説します。

講師：丸子中央病院 皮膚科部長 松倉節子



◀ 詳細・お申し込みはこちら

第二部

もっと知ろう! 乾癬（かんせん）～乾癬とメタボのつながり～
乾いた皮膚の粉が落ちやすく、赤くなったり、痒かったり、厄介な皮膚の病気「乾癬（かんせん）」を説明します。

講師：横浜市立大学大学院医学研究科
環境免疫病態皮膚科学 教授 山口由衣



◀ 丸子中央病院
公式YouTubeでも後日公開します

編集後記

すりすりしてくる猫、我関せずの猫、寄り添い合って寝ている猫……か、かわいい! 紹介したシエルターの様子はYouTubeなどで24時間ライブ配信されているので(2022年6月現在)そちらも要チェックですよ。癒やしのある取材でしたが、二方で松井さんの言葉や話し方には熱量があり、目を背けたくなるような写真も見せてもらいました。持続可能性と言われますが、人とペットの関係もそれを真剣に考えなければいけないと感じました。(春日)



病院受付にあるシンボル「ピックツリー」にも猫がいるのを知っていましたか?

- 発行
特定医療法人 丸山会 丸子中央病院
経営企画課 広報係 Marukko(まるっこ)制作委員会
〒386-0405 長野県上田市巾着子1771-1
- 編集・進行
北澤 淳一(丸子中央病院)
安藤 あすか(丸子中央病院)
春日 真翔(丸子中央病院)
- アートディレクター
五木田 忠之(MOKUBA.CO.,LTD.)
- デザイン
MOKUBA.CO.,LTD.
- お問い合わせは…
丸子中央病院 経営企画課 広報係
Marukko(まるっこ)制作委員会まで
TEL.0268-42-1111
月曜日から金曜日、10時～17時(祝日・休日・年末年始を除く)

丸子の鉄道は生糸を横浜まで運ぶことを大きな目的に敷設されましたが、大正昭和の時代となると物流だけでなく旅客の利用も広がり、上田近辺に複数の路線が計画されます。今号では上田―松本を結ぶ交通について取り上げます。

(連載第6回)
上田・丸子と、
中南信を鉄道で
結ぶ夢③

接鉄道を通し、距離も時間も短縮しようと考えたのは、当時としては当然のことでした。

景気も良かったようで、『上田郷友会月報』大正11年5月号によると、「上田温泉電気鉄道にては松本、上田間に電気鉄道を敷設すべく今回本件に向けて申請したるが松本地方にても同会社に対抗し(中略)上田松本間電気鉄道を敷設すべく目下計画中」と、上田松本間に鉄道が2路線できていた可能性もあったのです。

この記事には続きがあり、上田温泉電鉄の詳細な敷設計画として「予定線は西内村を経て別所村に至り、県道二線路に添って松本に達する」

とあります。およその路線イメージを地図に落とし込んでみましたが、ご覧のとおり蛇行しています。経路する各地の要望と勾配を考えた現実な案だったのでしょう。それでも西内から別所、別所から青木も高低差があり、最後に県道二線路(青木峠)の高低差が待っています。



別所温泉駅に展示されている丸窓電車。この電車が使われたかも。



現在の別所温泉駅。計画が実現されていればこの駅も経由した?



結局計画は実現されず、三才山トンネルが開通するまで上田と松本を結ぶ幹線を確立できませんでした。頓挫した鉄道での青木峠越えについては、自動車バイパスを作る計画が令和の世になって現実味を帯びていますが、実現には時間がかかりそうです。山を越える交通の難しさは今も変わりません。